事例No.	2411
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	島根県津和野町

事例区分	地域活性化

タグ	・福祉・介護 ・ICT ・関係人口

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

畑迫における津和野町の地域経営モデルづくり事業

出典

総務省ホームページ

畑迫における津和野町の地域経営モデルづくり事業（島根県津和野町畑迫地区）

R4.11時点

【事業背景】

〇高齢化率が約57%で津和野町西部にある山間部の集落。
〇地域資源の活用が課題であるほか、診療所がなく、デジタル技術を活用した地域包括ケアシステムの構築が課題。

【事業実施主体】
畑迫地域まちづくり委員会
【R3交付金活用額】17,455千円

【取組内容】

【令和3年度に実施した事業】

①地域拠点施設を旧農協施設を改修し整備。拠点にて日用品の販売や地域食堂の実施、オンライン診療の実証等を実施。
②里芋や柿など畑迫の旬の収穫体験やピザ焼きなどを絡めた自転車ツアーなど、地域資源を商品化。
③ドローンを活用した地域振興のため、ドローン操作技術を有する人材を育成。
④地域運営組織を立ち上げ。

（地域食堂の様子）



（遠隔医療相談の様子）



（自転車ツアー）



【成果（令和3年度）】

①毎月2回鮮魚販売やそばの提供などを実施。
②自転車ツアーなど4サービスを造成。
③ドローンを扱える人材を3名育成。
④協議組織と実行組織を分けて形成。

【令和4年度実施予定の取組】

①拠点を軸として、手打ちそば、オレンジカフェ、地域食堂など定期的に地域住民が訪れるイベントづくりを実施。
②古民家活用の民泊営業を開始。ピザ窯を活用した自転車ツアーやお寺での体験イベントなども実施。
③ドローンを活用した空撮サービスや、イベント（ドローンに触れることを目的としたこども教室開催など）を展開。
④役場と連携した「地域のつながりを考える会」の実施を通じて、地域サロンの立ち上げを推進。ボランティア輸送の検討。